

語 釈

- 43 井戸はふさがっていたので、(そのふさいでいる) 砂を掘り出して盛り上げ、(改めて) 甃(いしだた)みし
なおして使えるようにし、
- 44 まがきは破れてまばらになっていたので、竹を割って編み直した。
- 45 (うち捨てられた畑には) 冬葵の古い根が一畝残り、
- 46 まだらに蘚(こけ)の生えたこぶし大の石が、一つころがっていた。
- 47 (官舎の) この有様は、長く空き家だったころのまま(殺伐とし)、
- 48 私が住むようになって、(官舎の、この殺伐とした風景は) 変わることはなかった。

41 ○荒涼…荒れはてて物さびしいさま。

『漢語大詞典』に、「亦作“荒涼”、荒蕪人烟寥落」として、沈約の『齊明帝哀策文』、「經原野之荒涼、
屬西成之伝暮」の例をあげる。

○失道…迷って道を見失う。

『漢語大詞典』に、「迷失道路」と説明しているのが、これにあたる。杜甫の「送人従軍詩」に
「馬寒防失道、雪没錦鞍轡」とある。

42 ○廣袤…地の面積をいう。「廣」は東西、「袤」は南北。『漢語大詞典』では、「①指土地面積。從東到西的長度